

2020.10.24

コロナ感染者の対応

PCR 検査が陽性でコロナ感染症と診断されると入院勧告となります。現在では患者さんの状態や社会的要因を考慮して、入院、ホテル療養、自宅療養の 3 つの選択肢があります。

何らかの症状があり治療が必要と判断された患者さんは入院になり治療が行われます。今回は治療が必要な患者さんは当然ですが、高齢であるため治療は必要ないが介護補助が入らないと日常生活できない方も入院となっています。八重山病院の看護師さん達は急性期の看護の面だけでなく、介護のことまでケアしていると思いますのでとても大変な状況と推察します。クラスターで患者数が一度に多数となり八重山病院の病床が逼迫したため、同様の患者さんを当院で入院継続としています。当院職員は厳格な感染対策を行いながら看護、介護することは初めての経験なので県立病院から派遣された感染管理看護師より知識、スキルを学び、それを実践しながらお世話させて頂いています。とても大変な業務ですが愚痴も言わず頑張ってくれています。医療従事者は自分も感染するかもしれないという大きな恐怖を感じながら患者さんのために仕事をしています。どうかそのご家族のお子さんがコロナを移されるから登校出来ないとか保育所で預かってもらえないとか余計な負担がかからないよう地域の方々のご支援をお願い致します。地域全体でコロナと闘う必要があると思います。

話がそれましたがホテル療養は若い感染者で症状も一人で自立して生活が出来た患者さんが適応になります。毎日健康チェックを受けながら現在職員の 10 名がホテル療養中で症状が悪化することもなく順調に経過しています。毎食弁当が届けられますがホテルの部屋から一歩も出ることが出来ないため、相当なストレスがかかっていると思いますがもう少し頑張っ欲しいと思います。自宅療養は特別な事情がある場合、考慮されるものと考えています。

ではいつまで療養が続くのかということですが、現在では発症から 10 日間かつ症状消失から 72 時間であれば入院勧告が解除になります。ただ抵抗力のない方は 20 日間まで注意が必要です。クラスター初期の患者さんで、発症から 10 日を過ぎて病状が安定している患者さんが当院に戻り始めています。重症化せず元気に戻って来て頂き嬉しい限りです。かすかな光が見えて来ました。クラスター乗り切るまでもう少しです。